

中京大学教養論叢執筆者別総目録

第1号～第15巻（通巻1号～29号）

目次

はしがき

凡例

目録

附録Ⅰ（特別記事一覧）

附録Ⅱ（巻・号・発行年月一覧）

はしがき

本目録は、「中京大学教養論叢」（中京大学論叢教養篇）第1号以来、第15巻最終号（第4号）に至るまでに掲載された記事を、執筆者別に排列、構成した目録である。

「教養論叢」は、1961年（昭和36年）、「中京大学論叢教養篇」第1号として発刊されたのがはじまりである。これ以前においては、「商学論叢」、「体育学論叢」に教養部関係の論文が掲載されていた。この形式は、第6号まで踏襲されたが、第7号より「中京大学教養論叢」として独立し刊行されるにいたった。表紙を飾った「中京大学教養論叢」の題字は、現在本大学文学部におられる樽本英信助教授がお書きになったものである。第8号以後は、「巻」と「号」を併用し、年数回刊行されることになった。

昭和49年度が第15巻にあたり、記事が相当の分量におよんだため、学術研究会教養論叢編集委員が執筆者別目録の編集を計画したのである。

1975年（昭和50年）1月16日

教養論叢編集委員

凡例

1. 本目録は「教養論叢」第1号から第15巻第4号に至るまでに掲載された記事の執筆者別の目録である。

1. 執筆者名はアイウエオ順に配列した。
1. 記事は、各執筆者について、原則として発表時期の順で、題名、掲載された巻・号・頁数を掲げた。
1. 共著（共訳）の場合は、各著者（各翻訳者）の箇所に重複して記載した。
1. 題名の表示は、「教養論叢」に掲載のままとした。
1. 「教養論叢」に掲載された記事の中で、執筆者別目録であることを考慮して採録しなかったものの一覧を、巻末に附録Ⅰとして記載した。
1. 「教養論叢」の巻・号・発行年月対照一覧を、巻末に附録Ⅱとして記載した。

教 養 論 叢 執 筆 者 別 総 目 録

第1号～第15巻（通巻1号～29号）

【ア】

相 島 倫 嘉

ジョン・キーツ研究

—「美的なるもの」を求めて—…………… 13—1 99～108

青 木 秀 夫

船舶の荷役についての一注意…………… 3 73～ 74

赤 松 昂

Émile Durkheim の教育論について…………… 4 1～ 22

Émile Durkheim による道德の意義と道德教育…………… 5 1～ 32

Émile Durkheim による道德の意義と道德教育(2)…………… 6 17～ 50

Émile Durkheim による道德の意義と道德教育(3)…………… 7 1～ 28

Émile Durkheim による道德の意義と道德教育(4)…………… 8—1 1～ 36

Émile Durkheim による道德の意義と道德教育(5)…………… 9—1 1～ 26

芦田 起久雄

公債論序説…………… 9—1 155～164

安藤 隆之

ラシーヌ劇の歴史的性格をめぐって…………… 13—2 137～156

【イ】

家崎 宏

婚約の破棄…………… 3 171～178

池田 久一

英語の形容詞・副詞の比較法について…………… 13—1 109～120

Discover Japan!…………… 14—3 107～112

現代日本語における外来語考

—英語を中心として—…………… 15—3 157～168

伊藤 進

マロのエピグラムに於ける

Amour courtois と Sensualité…………… 15—3 207～244

今村 良幸

米ソ外交における平和共存論

—第二次大戦後からキューバ危機まで—…………… 10—3 133～158

キューバ反革命事件に関する一考察

—4.17侵攻事件と合衆国, キューバの動向—…………… 11—1 73～94

政治と人間 —大衆社会における

人間の政治的価値観—(I)—…………… 13—1 23～42

ヘンリー・A. キッシンジャーの外交哲学

—批判・省察・行動の外交政策論—(上)—…………… 15—1 33～58

ヘンリー・A. キッシンジャーの外交哲学

—批判・省察・行動の外交政策論—(下)—…………… 15—2 81～118

〔書評〕 入江啓四郎「開発途上国における国有化」… 15—4 231～241

【ウ】

丑 田 弘 忍

Fausts Heilung am Anfang des zweiten

- Teils 12—3 139~158
 中世のラテン語叙事詩
 „Waltharius“ の翻譯並びに研究 (I) 13—2 103~136
 中世のラテン語叙事詩
 „Waltharius“ の翻譯並びに研究 (II) 13—3 99~110
 中世のラテン語叙事詩
 „Waltharius“ の翻譯並びに研究 (III) 14—1 173~190
 「カルミナ・ブラーナ」について (1) 15—1 135~150
 「カルミナ・ブラーナ」について (2) 15—2 233~270
 『クードルン』試訳 (I) 15—3 279~300

【オ】

大 石 明 夫

- フランス第五共和国憲法とデモクラシー 1 65~94
 政治変動論の問題点
 —Jean-Willam Lapierre の所説を中心として— 2 1~22

大 橋 博 明

- 日本における農本主義教育論の研究 (I)
 —横井時敬について— 13—3 27~50
 日本における農本主義教育論の研究 (II)
 —山崎延吉について— 14—1 65~108
 日本における農本主義教育論の研究 (III)
 —いわゆる国民高等学校式教育について— 15—3 1~36
 日本における農本主義教育論の研究 (III)
 —いわゆる国民高等学校式教育について(2)— 15—4 1~39

大 東 秀 子

繊維用化学糊剤について…………… 4 149～163

小 田 真 弘

言語学資料としての原語による西サモアの民話…………… 5 125～146

サモア語音韻論…………… 6 133～152

鬼 塚 敬 一

John Donne の知的偏重

—特に彼の恋愛詩をめぐって—…………… 2 45～ 64

メタフィジカル・ウイトに関する一考察…………… 3 117～136

【カ】

加 藤 昭 二

ビューロクラシー論ノート

—基礎的理解のために—…………… 3 179～201

加 藤 等

時間評価の一側面…………… 3 21～ 26

河 村 正 義

双子葉観賞植物の葉部灰像 (1) …………… 3 137～150

単子葉花卉類の葉部灰像 (中沢琴江と共著) …………… 7 175～187

【キ】

木 村 崇

芥川の短編とその Н. Фельдман 訳(1)

—文芸翻訳理論の諸問題の実際的研究—…………… 14—1 109～142

芥川の短編とその Н. Фельдман 訳(2)

—文芸翻訳理論の諸問題の実際的研究—…………… 14—2 135～154

ガリパーリン「文体」および

「文体論」の概念について (翻訳) …………… 15—1 223～246

【コ】

呉 世 煌

- 瓊瑩著「白狐」(I)…………… 15—4 169～197

古 賀 保 夫

- ニーチェ研究序説…………… 12—1 115～132
 シュニッツラー論…………… 12—2 51～70
 カロツサー作品と人生の深奥性—…………… 12—3 89～108
 ペーター・ヴァイス論…………… 13—2 77～98
 P. ヴァイス「両親との別れ」と自己分析…………… 13—3 83～98
 「亡命のトロツキー」と信条告白…………… 14—1 157～172
 P. ヴァイス「追究」について…………… 14—2 155～170
 P. ヴァイスの解放劇について…………… 14—3 89～106
 レマルク「西部戦線異状なし」と戦争文学…………… 15—1 111～134
 P. ヴァイス「塔」における束縛と解放…………… 15—2 213～232
 P. ヴァイス『ヘルダーリン』—詩人・革命家…………… 15—3 169～188
 S. ツヴァイクに見るヨーロッパ的教養の限界…………… 15—4 135～150

小 林 達 也

戦後の教育調査の検討

- 教師研究の実態と方法—…………… 5 87～124

東海地方企業・技術の国際伸展力

- 名古屋商工会議所との共同調査報告—…………… 7 73～106

人的能力政策についての一考察

- (付・インドの技術教育)…………… 9—1 59～82

〈実践レポート〉

- 開発途上国に移植される明治技術の遺産…………… 9—2 95～110

工業化過程における技術の普及と技能者教育

- その一・低開発国の技術の普及—…………… 10—2 73～98

〔学生のために〕

- 英語で学ぶ技術の歴史…………… 11—1 95～116

Transfer of Technology and Traditional

Industry —The Experience of the Enshu

Area in Japan— 13—1 163~190

小林 義 雄

加齢にもとづく有酸素的体力の変化と

中高年者における鍛練効果について..... 15—3 245~278

小 山 驥

T. S. Eliot のFour Quartets の

音楽性について..... 9—1 107~124

Eliot と Stevens の文体比較

—後期の詩を中心として—..... 9—2 57~ 72

Wallace Stevens の詩における

想像力と文体の関係..... 10—1 63~ 78

W. C. Williams の詩における

想像力の意義..... 10—2 51~ 72

【サ】

佐 伯 富 樹

書評・C. W. Jenks ; A New World of Law?

..... 11—2 219~226

米州人権条約の成立過程..... 12—2 1~ 30

〔資料〕 米州人権条約..... 12—3 159~184

〔資料〕 1909年境界水条約および1935年オタワ条約... 15—2 271~286

〔資料〕 バルト海域の海洋環境保護に関する条約..... 15—4 199~213

斎 藤 達 次 郎

ユカギール族の靈魂観（上）..... 9—1 165~170

ユカギール族の靈魂観（下）..... 9—2 89~ 94

佐野 公 治

- 清初思想研究の現状と問題点…………… 7 141～160
「仁学」における変革の論理…………… 8—2 67～ 86
書評・守本順一郎「東洋政治思想史研究」…………… 9—1 171～182

佐 橋 義 金

- 実質所得者課税の原則…………… 7 161～174

沢 田 照 徹

- 現代アメリカ語の用法 (訳) …………… 8—1 125～150
現代アメリカ語の用法 (訳…つづき) …………… 8—2 121～146
アメリカ英語の特色 (I) …………… 10—1 131～166
—American English by Albert
H. Markwardt を中心として— …………… 13—1 121～162
アメリカ英語の特色 (I) (つづき)…………… 10—2 151～176
アメリカ英語の特色 (II) …………… 10—3 67～114
アメリカ英語の特色 (III) …………… 11—2 65～104
アメリカ英語の特色 (IV) …………… 12—2 71～104
アメリカ英語の特色 (VI) …………… 13—1 121～162
アメリカ英語の特色 (VII) …………… 13—2 157～186
アメリカ英語の特色 (VIII) …………… 15—3 111～156

沢 田 徹 郎

- 現代文明に於ける技術と人間の速度の問題
—仮説 CORTEX LAG & BIO LAG— …………… 15—2 43～ 80

沢 登 佳 人

- 芸術における「類型性」と「現実性」
—「真夏の夜の夢」と「西遊記」との場合—…………… 3 151～170

【シ】

柴 田 庄 一

Kafka に於ける作品の構造		
—『アメリカ』の場合（Ⅰ）—	12—2	31～ 50
Kafka に於ける作品の構造		
—『アメリカ』の場合（Ⅱ）—	12—3	63～ 88
エドワルド・ムンクとドイツ表現派（上）	13—1	87～ 98
エドワルド・ムンクとドイツ表現派（下）	13—2	99～102
ゲオルク・トラークル論（上）	13—3	51～ 82
ゲオルク・トラークル論（下）	14—1	191～206
現代詩と抒情の宿命	14—3	69～ 88

【ス】

杉 山 卓 世

協同組合本質・考	8—1	59～ 68
食糧経済概説	12—3	23～ 38
〔資料〕 消費組合の発展過程	13—1	213～226
自作農論考(1) —その成長過程—	14—1	45～ 64
自作農論考(2) —その崩壊過程—	14—2	113～134
自作農論考(3) —自立経営農家の成立—	14—3	47～ 68
生命論攻 —序説—	15—1	59～ 80
細胞論考	15—2	127～148
遺伝に関する考察	15—3	89～110
図書館学論考	15—4	41～ 59

諏 訪 田 清

フランツ・カフカ論—書くことに対する執着—	15—3	189～206
-----------------------	------	---------

【セ】

千 賀 博

年令統計の方法に関する研究	10—1	37～ 62
---------------	------	--------

50音図の行列構成と拡大効用の数理……………	12—1	103～114
最近18年間における知名人の寿命, 死因等の推移に関する考察 (I) ……………	13—3	179～200
最近18年間における知名人の寿命, 死因等の推移に関する考察 (II) ……………	14—1	243～271
自然数の分類における分離数の役割と 電算機による計算成果……………	14—2	193～212
記号論理・数学の発展と弁証法の限界……………	15—3	55 ～78

【夕】

武 田 徹

不適應現象 —劣等感の側面— ……………	2	65～ 86
----------------------	---	--------

田 中 善 一

織田信長の民政……………	3	27～ 50
名古屋東照宮創祀考……………	4	23～ 52
尾張光友と若宮八幡宮……………	5	51～ 68
尾張藩における富士信仰と修験……………	6	1～ 16

谷 口 敬 一

カントにおける自然の人間化……………	11—2	1～ 18
--------------------	------	-------

田 村 照 一 郎

Wilfred Owen の戦争詩 (上)……………	14—2	171～192
Wilfred Owen の戦争詩 (下)……………	15—1	81～110

田 村 通 和

生体抵抗ならびに防衛機序の研究……………	7	133～140
2・3機能のドライバーにおける作業特性について……………	9—1	49～ 58
発育期の生体に及ぼす光刺戟と ビタミンA過剰の影響について……………	10—1	99～112
ドライバーのための体操の効果について……………	10—2	99～112

- 有機金属—フルオレセインの沈澱物の
製造とその応用について…………… 12—1 77～102
- 公害防止のための有害物処理方法の研究
— I. クロム酸含有廃液の処理の一方法—…………… 13—3 201～211
- 重クロム酸カリウム含有水の
ヒブナに与える影響について…………… 14—1 233～242
- 重クロム酸塩含有水飲料による
マウスの実験的盲目について…………… 15—3 79～ 88

【ツ】

築 城 真 市

- 英語のアスペクト学習上の問題点…………… 15—2 171～212

【テ】

手 嶋 竹 司

- 古代ドイツ語（文献以前の）時代の外来文化の受容
と Wortschatz への反映の文化史的考察…………… 10—1 113～130
- 古代ゲルマン語におけるアクセントの固定
（第一音節）と語末の音節の母音への影響…………… 10—2 131～150
- 古代ゲルマン語における動詞語幹の構成
I. 語根（強変化）動詞の場合…………… 11—1 29～ 42
- 古代ゲルマン語における動詞語幹の構成
II. 第二次（弱変化）動詞の場合…………… 11—2 19～ 40

【ト】

戸 河 里 長 康

- 乳濁液の転相の一原因について…………… 9—1 147～154
- 書評・山岡望著「化学史伝」（脚註版）…………… 10—2 195～202
- ヨウ素酸イオンと亜硫酸水素イオンによる
時計反応における自触媒作用の研究…………… 11—2 133～140

- シュウ酸および過マンガン酸カリウム溶液間の
 反応に於ける誘導期の研究…………… 12—1 63～76
 カン（鹹）味を有するイオンの研究…………… 15—2 119～126

鳥羽正昭

- 服飾史を中心にみた外来文化の日本化
 —王朝文化の成立—…………… 4 125～148

土橋文夫

- 曹植の七歩詩について…………… 1 3～16

富永道夫

- 「Cliché 序論」…………… 1 95～127
 「Cliché 序論」(2)
 —Cliché と Idiom—…………… 2 23～44
 「Cliché 序論」(4)
 —Cliché の効用と修正表現—…………… 3 97～116

【ナ】

内藤道雄

- Günter Eich に於ける現代詩の道…………… 11—1 63～72

中沢琴江

- 単子葉花片類の葉部灰像（河村正義と共著）…………… 7 175～187

中村康二

- シュティフターの『森の小径』に
 おける自然による救済…………… 15—4 151～168

【ニ】

新田雅章

- 智顛の漸次止観にみられる二種の側面…………… 10—1 79～98

【ノ】

野 崎 氏 隆

企業における身分制度について

- 三菱重工業の「新従業員制度案」をめぐって—… 10—2 113～130
- 日本における資本主義の発展と賃金格差…………… 11—2 105～132
- 「労働力の使用価値」と価値…………… 13—2 1～ 34
- 賃金決定法則に関する考察…………… 14—1 17～ 44
- 書評・木村崇氏の翻訳理論に関する
若干の非専門的疑問, その他…………… 14—2 213～230

【ハ】

馬 場 駿

マーク・トウェインの遺著をめぐって (上)

- The Mysterious Stranger—…………… 11—2 41～ 64
- マーク・トウェインの遺著をめぐって (下)
- The Letters from the Earth—…………… 12—1 39～ 62
- マーク・トウェインの民話
- ハック フィンを中心として—…………… 12—3 39～ 62
- マーク・トウェインの秘密…………… 13—3 141～162
- 漢詩の読み方 (I) (中国語を学ぶ学生のために) …… 14—1 143～156

【ヒ】

日 比 野 省 三

- 教育とシステム設計…………… 11—1 43～ 62
- S E D T (Systematic Education Design
Technology) と教育の効率化 …………… 11—2 165～196
- S E D T (Systematic Education Design
Technology) と創造性 …………… 12—1 1～ 24
- (学生のために) 技術英語論文の書き方 …………… 12—2 137～160
- Total System Design Methodology for
Ocean Development…………… 12—3 1～ 22

- 大学に於ける英語に関する意識調査…………… 13—2 187～229
- システムの評価と選択 —その実証的研究— …… 14—1 207～232
- 米国における新しい教育システムの流れ…………… 14—2 23～ 46
- 組織の柔軟化と FAMOUS システム …… 15—2 149～170
- 伊勢市における都市システム
 シュミレーション (I) …… 15—4 105～134
- 平 瀬 徹 也
 ネオ・ソシアリズム運動について
 —ヒトラー政権成立とフランス社会党—…………… 4 73～ 98
- 【フ】
- 福 田 忠 郎
 Julien Green のロマンにおける人物たち…………… 8—2 87～120
- Julien Green における「他者」…………… 9—1 125～146
- Julien Green における「孤独」…………… 9—2 73～ 88
- 藤 平 誠 二
 カフカの Erzählhaltung について…………… 9—1 83～106
- 藤 原 健 固
 小集団におけるコミュニケーション
 —リーダーシップとの関係において—…………… 13—1 43～ 68
- 小集団内コミュニケーションの諸相…………… 14—2 47～ 84
- 船 戸 鉦 一 郎
 ミュンヘン七カ月の生活…………… 6 153～159
- Marcuses Politische Eschatologie…E. Hölzen
 (邦訳) マルクーゼの政治的終末論…………… 14—3 113～147
- マルクスと現代 (翻訳) …… 15—1 247～273
- 古 橋 義 之
 フランス第二帝政期文学に於ける
 ヴィクトル・ユーゴーの地位…………… 3 75～ 96

- スキヤロンのロマン・コミックとフルティエールの
 ロマン・ブルジョアの登場人物に関する比較
 (堀田英毅と共著) 11—2 141~164
- 〔報告〕 外国語教育の現状と問題点..... 13—1 191~212
- 報告・ヨーロッパ'69 10—2 177~194
- ランボアの「イリュミナシオン」制作年代を
 めぐる謎について..... 15—1 161~196

古 屋 二 夫

- 紅樓夢集諺 — 中国諺語資料 (5) — 15—4 215~229

【ホ】

細 谷 雄 次 郎

- テニソンの詩, 特にその信仰と道德観
 についての一考察..... 12—1 25~38

堀 田 英 毅

- スキヤロンのロマン・コミックとフルティエールの
 ロマン・ブルジョアの登場人物に関する比較
 (古橋義之と共著) 11—2 141~164

スキヤロンの

- 『ル・ロマン・コミック』翻訳 (その1) 15—1 197~222

スキヤロンの

- 『ル・ロマン・コミック』翻訳 (その2) 15—3 301~332

堀 哲

- 神道の形成 (前編) 5 171~190
- 神道の形成 (中編) 6 83~104
- 漁民の信仰と意識構造
 — 東熊野海村の実態調査より — 8—1 89~124

【マ】

前川 知賢

サルトルの対他存在について……………	6	51～ 82
身心関係論の一考察 —平行論批判— ……	7	29～ 60
サルトルに於ける個人対社会……………	8—1	37～ 58
現代に於ける心身問題の展開……………	8—2	1～ 44
構造主義についての—考察……………	9—1	27～ 48
人間機械論と倫理……………	9—2	1～ 28
他我の認識について(サルトル対メルロポンティ)……	10—1	1～ 36
殉 死 考 —国家の成立の一史観—……………	10—2	27～ 50
成長経済の倫理 —国家と経済—……………	10—3	1～ 30
人間のための科学とはどういうことか……………	11—1	1～ 28
ゆたかな社会の倫理 (J. K. ガルブレイス論) ……	11—2	197～218
社会科学, 特に経済学における価値判断の問題……………	12—1	133～158
課題としての人類ヒューマニズム (上) ……	12—2	105～136
課題としての人類ヒューマニズム (下)		
—後編・民族解放と低開発国経済—……………	12—3	109～138
開発途上国経済の理論 (上) ……	13—1	69～ 86
開発途上国経済の理論 (中) ……	13—2	47～ 76
開発途上国経済の理論 (下) ……	13—3	1～ 26
対抗文化についての—考察 (上) ……	14—1	1～ 16
対抗文化についての—考察 (下) ……	14—2	85～112
アダム・スミスにおける経済と倫理		
—同感論を介して—……………	14—3	27～ 46
アダム・スミスにおける国家と経済 (上) ……	15—1	1～ 32
アダム・スミスにおける国家と経済 (中) ……	15—2	1～ 18
アダム・スミスにおける国家と経済 (下) ……	15—4	61～ 86

【ミ】

三 浦 克 己

禾木科植物，特に竹のパルプ化とリグニンの性質…………… 7 61～ 72

宮 沢 健

ラスキ・エピソード

—労働党の変質と英国憲法制度の特質—…………… 8—2 45～ 66

党内民主主義問題に関する一考察（マッケンジー・

テーゼをめぐる論争を中心として）…………… 9—2 29～ 56

選挙制度と政党制度

—M. デュヴェルジェの仮説をめぐる一…………… 10—3 115～132

英国における政策の決定

—南アへの武器輸出問題をケースとして—…………… 14—3 1～ 26

三 好 正 弘

書評・The Vietnam War and International Law

Edited by Richard A. Falk …………… 9—2 131～140

書評・Louis Henkin, “How Nations

Behave: Law and Foreign Policy” …………… 10—1 167～172

極小国家と国際連合

—加盟条件に関する予備的考察—…………… 10—3 43～ 66

【ム】

村 田 孝 雄

議院内閣制における不信任決議権の意義

—比較法的考察—…………… 7 107～132

ドイツにおける議院内閣制と政党…………… 8—1 69～ 88

連邦国家の支分国における議院内閣制

—ドイツ憲政の理論と実際—…………… 10—3 31～ 42

ワイマール憲法下の組閣について…………… 13—1 1～ 22

ワイマール憲法下における選挙制度の歴史的考察…………… 13—2 35～ 46

西ドイツ憲法下における選挙制度について

- 小選挙区制と比例代表制—…………… 14—2 1～22
- 西ドイツ憲法における「社会国家」原則…………… 15—3 37～54
- 議院内閣制の本質的意義…………… 15—4 87～103

【ヤ】

安村 仁志

- ニーコンの教会改革とラスコール…………… 15—2 19～42

【ヨ】

横井 敬一

マルクスとハイデッガー

- 人間の自己疎外をめぐって—…………… 1 17～40
- 人間と自然…………… 3 1～20
- レーヴノットとマルクス…………… 5 33～50

吉沢 貞

- ロレンス序論(Ⅰ) —彼の性の思想について— …… 13—3 163～178

吉村(渡辺)尚子

「紅樓夢」の会話に現われた

- 中国女性の「利害」について…………… 2 87～123
- 古典「紅樓夢」は現代中国において
如何にとりあげられているか
—王昆命論文の紹介—…………… 4 99～124
- 中国における女性会話の特徴的性格
—曹禺の「雷雨」「日出」「北京人」について—…………… 5 147～170
- 老舍「四世同堂」にみる女性会話の特徴について
—「惶惑」「輪生」の用例的考察— …… 6 105～132
- 中国語の発音教授について
—その初歩的段階における二三の手法—…………… 9—2 111～130
- 学習意欲の啓発・誘導を意図する中国語教授法…………… 13—3 111～140

【ワ】

渡 辺 龍 策

中国軍閥に関する一考察

—近代中国軍閥政治史序説—…………… 1 41～ 64

宋教仁暗殺事件の意味するもの

—民初政争の一断面—…………… 3 51～ 72

吳玉章の「辛亥革命論」…………… 4 53～ 72

『賄選憲法論』序章

—曹錕憲法制定前史—…………… 5 69～ 86

都道府県合併と地方自治の本旨…………… 10—2 1～ 26

附録 I

第 1号	中京大学論叢教養篇卷頭の辞(梅村清明)
第 3号	土橋文夫教授還暦記念号, 序文(梅村清明), 土橋文夫教授(写真), 土橋文夫教授略歴, 著作目録
第9巻第1～2号	教養部便り
第10巻 第1号	教養部便り
第14巻 第3号	〔座談会〕 中京大学における一般教育の現状と展望(上)
第15巻 第1号	浅野茂夫, 鳥羽正雄先生退任記念特集号, 卷頭言(松垣兼一), 浅野茂夫, 鳥羽正雄先生(写真), 浅野茂夫, 鳥羽正雄先生略年譜と著作目録

附録 II

卷・号	発行年月	卷・号	発行年月
第 1号	昭和36年2月(1961)	第12卷第1号	昭和46年5月(1971)
2号	37年1月(1962)	2号	46年8月(1971)
3号	37年11月(1962)	3号	46年11月(1971)
4号	38年12月(1963)	第13卷第1号	47年7月(1972)
5号	39年12月(1964)	2号	47年10月(1972)
6号	40年12月(1965)	3号	47年11月(1972)
7号	41年12月(1966)	第14卷第1号	48年6月(1973)
第8卷第1号	42年9月(1967)	2号	48年9月(1973)
2号	43年1月(1968)	3号	49年1月(1973)
第9卷第1号	43年10月(1968)	第15卷第1号	49年5月(1974)
2号	44年1月(1968)	2号	49年9月(1974)
第10卷第1号	44年9月(1969)	3号	49年11月(1974)
2号	44年12月(1969)	4号	50年3月(1975)
3号	45年2月(1970)		
第11卷第1号	45年6月(1970)		
2号	45年12月(1970)		